

万が一にもしっかり備える、先進の安全技術を搭載。＜対象グレードはTechnical Informationをご確認ください＞

幅広いシーンで安心の運転を支えます



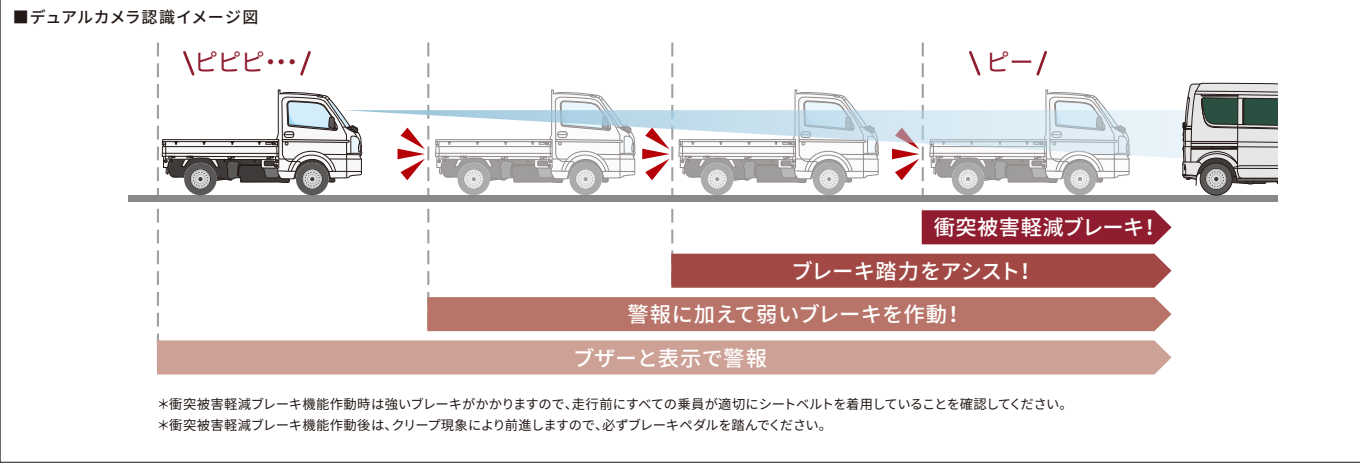
安全運転サポート車（サポカーS・ワイド）※1に該当
経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している、高齢者を含む運転者を先進安全技術で支援し交通事故防止を図る「安全運転サポート車（サポカーS・ワイド）」に該当しています。サポカーS・ワイドは、被害軽減ブレーキ（対歩行者）、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。



※1 KCエアコン・パワステ（AT・セーフティパッケージ装着車）およびKX。＊詳細についてはマツダオフィシャルウェブに掲載しております。上記QRよりご覧ください。

デュアルカメラブレーキサポート（衝突被害軽減システム） 運転支援機能 ※2 ※3 ※4 ※5 ※6

2つのカメラで前方の車両や歩行者を検知し、衝突のおそれがあると判断すると、ブザー音やメーター内の表示によってドライバーに警告。また、夜間の歩行者を検知することも可能です。衝突の可能性が高まると弱いブレーキを作動。その間ブレーキペダルを踏むとブレーキ踏力をアシスト。さらに衝突の可能性が高まるとブレーキを制御し、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。



＊衝突被害軽減ブレーキ機能作動時は強いブレーキがかかりますので、走行前にすべての乗員が適切にシートベルトを着用していることを確認してください。
＊衝突被害軽減ブレーキ機能作動後は、クリープ現象により前進しますので、必ずブレーキペダルを踏んでください。

※2 状況によっては正常に作動しない場合があります。※3 対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または、被害を軽減できない場合があります。※4 ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行っているときは、作動しない場合があります。※5 ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。

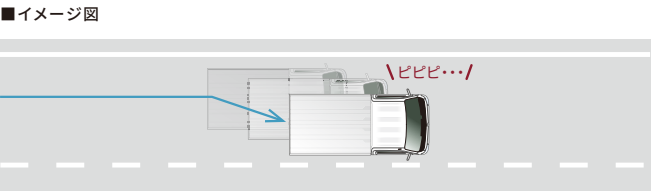
誤発進抑制機能〔前進時〕 運転支援機能 ※2 ※3 ※4 ※5 ※7

駐車場などで、前方に壁などがあるにも関わらずシフトを5MT車はR以外、4AT車はD、2、L（前進）の位置でアクセルペダルを強く踏み込むと警告音が鳴り、さらに強く踏み込み続けると最長約5秒間、エンジン出力を制御。急発進・急加速を抑えて、踏みまちがちななどによる衝突回避に貢献します。



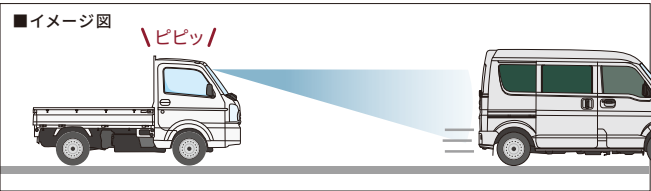
車線逸脱警報機能 ※2 ※5 ※9

走行中に左右の区画線を検知して進路を予測。前方不注意などで車線をはみ出しそうになると、ブザー音などの警報によってドライバーに注意を促します。



先行車発進お知らせ機能 ※2 ※5 ※11

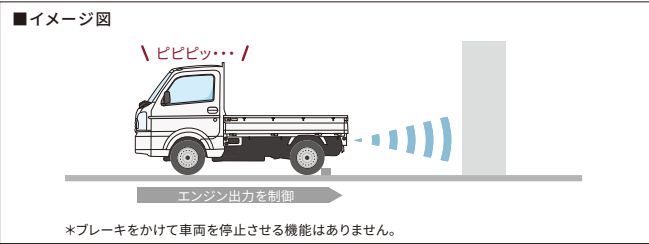
停車中、前のクルマが発進して約4m以上離れても停車し続けた場合、ブザー音やメーター内の表示によって、ドライバーに先行車の発進をお知らせします。



＜作動条件＞※6 自車速度約5km/h～約85km/hで走行中、前方の車両や歩行者を検知し、システムが衝突の可能性があると判断した場合。作動したときの速度が約5km/h～約50km/h（歩行者の場合は約5km/h～約30km/h）であれば、衝突を回避できる場合があります。なお、警報およびブレーキアシストは約100km/hまで作動します。周囲の環境や対象物の動きなどによっては、警報のみでブレーキが作動しない場合があります。また、警報と同時に衝突被害軽減ブレーキが作動する場合があります。※7 シフトが5MT車はR以外、4AT車はD・2・Lの位置で停車または徐行中（約10km/h以下）、前方約4m以内に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。※8 停車または約10km/h以下で後退中、後方約3m以内に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。※9 約60km/h以上で走行中、車線の左右区画線を検知し、進路を予測。システムが車線をはみ出すと判断した場合。※10 約60km/h以上で走行中、車線の左右区画線を検知し、自車の走行パターンを計測。システムが「ふらつき」と判断した場合。※11 シフトが5MT車はR以外、4AT車はD・2・L・Nの位置でブレーキ操作をして停車中、先行車が発進して約4m以上離れた場合。※12 約30km/h以上で走行中、ライトスイッチレバーのつまみを「AUTO」の位置にし、ヘッドライトが点灯した状態でレバーを車の前方向に押し、ハイビーム位置にしているとき。
●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

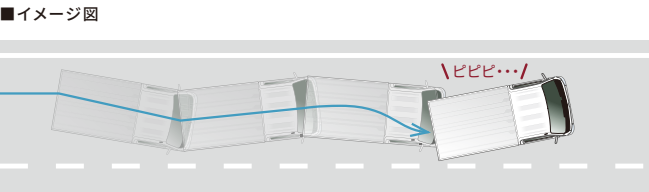
誤発進抑制機能〔後退時〕 運転支援機能 ※2 ※3 ※4 ※5 ※8

後方に障害物があるにも関わらずシフトをR（後退）の位置でアクセルペダルを強く踏み込むと警告音が鳴り、さらに強く踏み込み続けると最長約5秒間、エンジン出力を制御して急な後退を防止。シフトの入れまちがちななど、うっかり誤操作による衝突回避に貢献します。



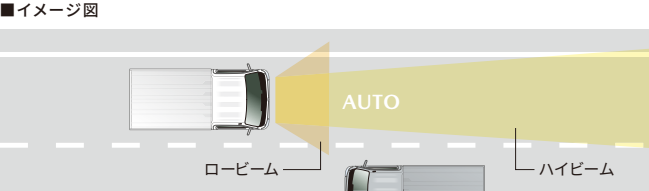
ふらつき警報機能 ※2 ※5 ※10

走行中に左右の区画線を検知して、自車の走行パターンを計測。車両が蛇行するなど、システムが「ふらつき」と判断した場合、ブザー音などの警報によってドライバーに注意を促します。



ハイビームアシスト機能 ※2 ※5 ※12

ヘッドランプをハイビームにして走行中、前方に対向車や先行車がいったり、明るい場所を走行すると自動でロービームに。対向車や先行車がいなくなったり、周囲が暗くなると自動でハイビームに戻ります。



＊画像は説明のためのイメージです。

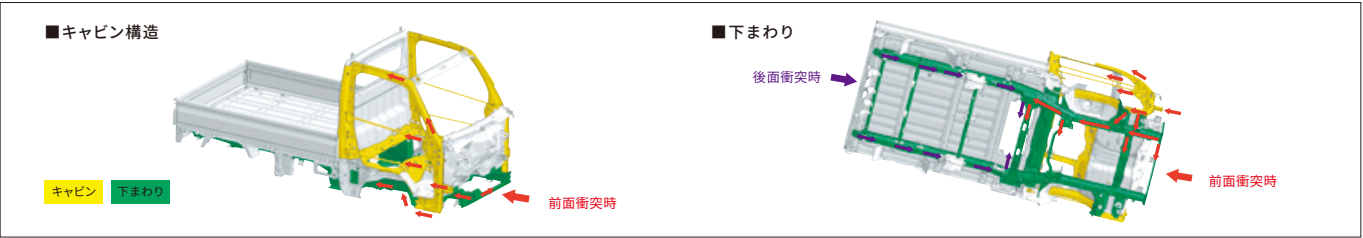
すみずみまでこだわった安全性。

事故や衝突の被害を抑えるために、きめ細かな装備を採用しています

安全性を高める軽量衝撃吸収ボディ

衝突時の衝撃を吸収するクラッシュャブル構造や、衝撃を効果的に分散する骨格構造、高強度なキャビン構造など多くの安全技術を採用した軽量衝撃吸収ボディが万一の際の安全性を高めます。＜標準装備＞

■万一の際に前面・後面からの衝突エネルギーを分散・吸収するキャビン構造 & 下まわり



サイドインパクトバーを2本採用

左右ドア内部に2本採用されたサイドインパクトバーにより、正面衝突だけでなくオフセット衝突による車体の変形を抑えます。＜標準装備＞

*写真のサイドインパクトバーは説明のために着色しています。



安全性を高めたシートベルト機構

衝突時にシートベルトの緩みを瞬時に巻き取るプリテンショナー、胸部への衝撃を緩和するロードリミッターを運転席・助手席に標準装備。＜標準装備＞



ダイナミック・スタビリティ・コントロールシステム[横滑り防止機構] (DSC) & トラクション・コントロール・システム (TCS) ※3

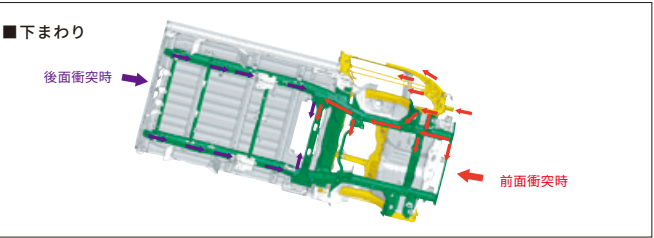
さまざまなセンサーによって走りを監視し、必要に応じてエンジンとブレーキをコンピューター制御。カーブなどでのタイヤのスリップや横滑り、急ブレーキ時のタイヤロックなどを抑え、車両の安定走行に貢献します。＜標準装備＞

安全性を高める高張力鋼板を

採用したキャビン構造 & 下まわり

フロントフレーム部などを中心に採用された高張力鋼板。軽量化を図りながらバンパーなど各部位を強化し、衝突安全性を高めました。＜標準装備＞

■キャビン構造



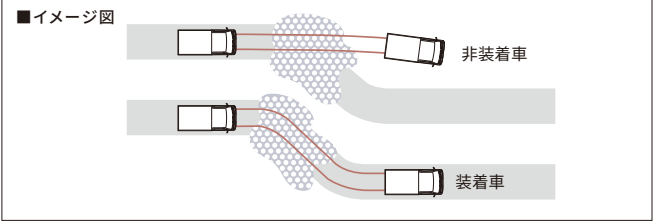
SRS※1エアバッグシステム 運転席 & 助手席を標準装備

前方からの衝突時、エアバッグが瞬時に膨張・収縮。シートベルトの効果と合わせて乗員の頭部や胸部へのダメージを緩和します。＜標準装備＞



4輪アンチロック・ブレーキ・システム (4W-ABS) ※2 & 電子制御制動力配分システム (EBD) を標準装備

急ブレーキ時や雨などで滑りやすい路面でのブレーキ時のタイヤロックを防ぎ、ステアリング操作による障害物回避をサポートします。ブレーキアシストは全車標準装備。＜標準装備＞



ヒルホールドコントロール

坂道での発進時には、クルマが後ろに下がらないように、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏み替える瞬間、一時的にブレーキが作動（最長約2秒間）。落ち着いて発進ができます。

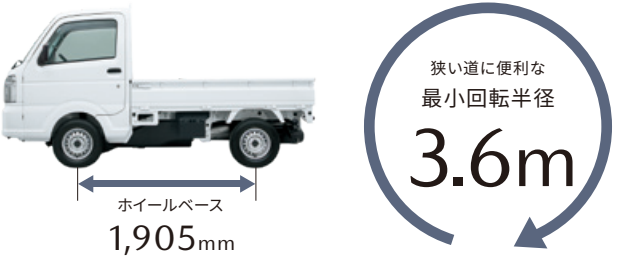
<対象グレードはTechnical Informationをご確認ください>

幅広いシーンに対応する扱いやすさと高い走破性。

ショートホイールベースだから狭い道でもスムーズです

小回り上手なショートホイールベース

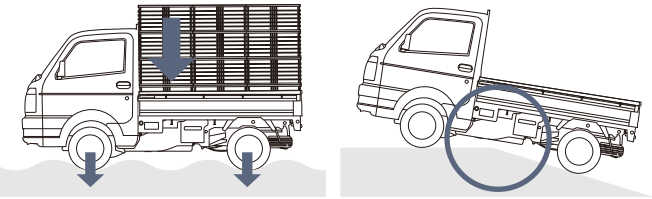
ホイールベースが短く、回転半径や内輪差が小さいため、優れた小回り性を発揮。狭い道を曲がる際や駐車時・Uターン時などでも切り返しが少なく、スムーズに走ることができます。



悪路や段差に強い、安定した使いやすさ

悪路でも安心の荷重バランス

荷物積載時にも前後輪にかかる荷重バランスが良いので安定した走りを生み、悪路でもボディ底部をこすりにくいのが特長です。



段差などでボディをこすりにくい

アプローチアングル & バンパー地上高

アプローチアングルとバンパー地上高が高いから、急勾配やあぜ道への乗り入れなどでも、車体と地面が接触しにくいです。



※4 スズキ株式会社による社内測定値。

状況に合わせて使い分けられる頼もしい機能

走行中でも2WD⇄4WDがワンタッチ、ドライブセレクト4×4

舗装路では2WD、荒れた道や雪道などでは4WDと、走行中でもスイッチひとつで切り替えることができます。

<対象グレードはTechnical Informationをご確認ください>

*2WD⇄4WDへの切り替えは、直進時に80km/h以下で行ってください。



路面状況に合わせ、力強い走りが選べる 高低速2段切替え式パートタイム4WD

平坦な砂利道やあぜ道などでは4H (4WD 高速) を、起伏の激しい荒れた道などでは4L (4WD 低速) をレバー操作で切り替えることができます。

<対象グレードはTechnical Informationをご確認ください>

*4Hと4Lの切り替えは、必ず停車して行ってください。



エンジンオイル交換お知らせ機能

エンジンオイルの交換時期になると、メーター内のインジケーター点灯と、マルチインフォメーションディスプレイ内の「OIL」表示でお知らせします。＜標準装備＞

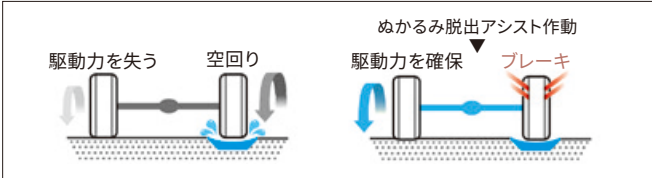


●エンジンオイル交換お知らせ機能について、詳しくは営業スタッフにおたずねください。
*工場出荷時はお知らせ機能作動状態となっています。

路面状況が悪くても安心の装備

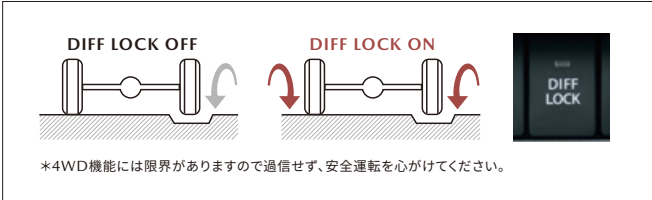
ぬかるみ脱出アシスト

ぬかるみなどで駆動輪のどちらかが空回りした場合、空回りする方にブレーキをかけることで、もう一方に駆動力を伝達。ぬかるみなどからの脱出をアシストします。＜対象グレードはTechnical Informationをご確認ください>
*タイヤの空回りを検知すると自動で作動します。



ぬかるみからの脱出に威力を発揮するデフロックスシステム

ぬかるみなどで後輪の片方が空回りした場合に、スイッチをONにするだけで、もう一方のタイヤに駆動力を伝達。ぬかるみなどからの脱出時に威力を発揮します。＜対象グレードはTechnical Informationをご確認ください>
*デフロックスシステムは、安全のため30km/hを超えた場合には、自動的に解除されます。



※1 SRS: Supplemental Restraint System (補助拘束装置) 運転席 & 助手席エアバッグは横方向や後方からの衝撃、横転および転覆した場合や正面からの衝撃が小さい場合には作動しません。すべてのSRSエアバッグはシートベルトをしたうえでの補助拘束装置です。シートベルトは必ず装着してください。
※2 4W-ABS & EBDはあくまでもドライバーのブレーキ操作を補助するシステムです。4W-ABS & EBD非装着車と同様に、コーナ等の手前では十分な減速が必要です。安全運転を心がけてください。
※3 エンジントルク低減の度合いやブレーキをかける車輪とその強さは走行状況により変化します。DSC & TCSはあくまでも安定走行を補助する装置です。タイヤと路面間のグリップの限界を超えてスリップや横滑りを起こした場合はDSC & TCSが作動したとしても、その効果は期待できません。